



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



Vol.23
2020年6月号

News
Letter

おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌 <https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>



病院長 林 美加子

令和2年4月より、大阪大学歯学部附属病院・病院長を拝命しています、林 美加子です。

本年始めより、新型コロナウイルス感染症が拡大し、ようやく5月末に緊急事態宣言が解除されましたが、社会全体には不安が広がっています。

そのような中、本院に通院されておられる患者様には、どのような時でも口の健康をより大切にされたいとの気持ちでおられると思います。緊急事態宣言下では、治療を延期していただくなど、ご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

私たちは、患者の皆様様の健康を守る観点から、医療機関として感染に対して一層の注意が必要であると認識し、行政と連携して最新の情報収集に努めています。また、手洗いやマスク着用といった標準予防策に加えて、普段より重装備な防護服の着用や診療室の換気などの感染対策を強化しています。医療を提供する側の健康管理はもちろんのこと、患者様の体調についても詳しく伺うなど、ご協力をお願いすることも増えています。

世界的にも経験したことのない難しい局面が続いておりますが、本院の教員・職員が全力で対応して参る所存です。一日も早く平常に戻ることを祈りつつ、患者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

内面

- 特集 1.
コロナウイルス感染症対策
- 特集 2.
クラウドファンディング
ご協力へのお礼とご報告

お口のマメ知識

裏面

- 2020年1~4月の統計情報
- 病院概要



歯学部附属病院の現状

(副病院長・感染制御室長 山城 隆)

新型コロナウイルス感染症の影響で、歯学部附属病院は診療を縮小することとなり、皆様には大変ご迷惑をおかけしております。心よりお詫び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、味覚障害が起こったり、唾液の飛沫から感染したりするなど、口に大きく関わります。そのため市中においてもマスクが急激に必要となりました。これまで当院は感染の有無や経路に関わらず標準予防策をもとに治療を実施してきましたが、この影響により、病院内のマスク・ゴーグル・ガウンなどの感染防護具が不足する事態になりました。

このような状況に対して、私どもは苦渋の決断を行い、ガン治療やどうしても必要な手術、また内科的な問題等で一般歯科医院での治療が難しい方の歯科治療を優先することとし、当院での治療に必要な資材を集約いたしました。その間、多くの地方公共団体、企業、一般の方々から、感染防護具のご寄付を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

この広報誌が発刊される頃には、診療の制限を段階的に解除し、通常の診療体制へと戻している過程であると思います。新型コロナウイルス感染症は、感染しても症状が現れない方がいらっしゃる大きな特徴です。感染者は確実に少なくなっていますが、今後も細心の注意を払って感染を予防しなければなりません。当院は特に、全身状態への配慮が必要な患者様の割合が非常に高く、一般の歯科医院と比べ、より重装備の感染防護具装着が必要なため、診療の縮小がまだしばらく続きます。皆様には引き続きご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

日常生活における感染制御のポイント

(薬剤部長 浦川 龍太)

新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、皆様の感染に対する意識はかなり高まっていることと思います。情報時代であるいま、テレビやインターネットなどでは様々なことが言われており、偏った情報や誤った情報などにも注意する必要があります。そこで今回は、新型コロナウイルスにかからないため、あるいは人に移さないためのポイントに触れたいと思います。

ポイントは皆様の手にあります。新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により移ると言われていますが、多くは汚染された物と触った手を介した接触感染によるものと言われています。以下に5つのポイントを挙げましたので、3密をできる限り避けるとともに、普段の生活で心掛けてください。



手をこまめに綺麗にする
(手洗い・手指消毒)



汚い手でもものに触らない
(パソコン・ドアノブ・手すり等)



できる限り手で顔を触らない
(目・鼻・口からの侵入)



手で汚いものに
触れない、または
触れた後の手指消毒
(スマホ・マスク表面等)



咳エチケットで
ウイルスを
まき散らさない、
手に付けない
(マスクの着用など)



Project 1 指定難病「低ホスファターゼ症」の子どもたちの乳歯早期脱落を救いたい!! 「低ホスファターゼ症の歯科治療法開発プロジェクト」

小児歯科 科長 仲野 和彦 矯正科 科長 山城 隆

「低ホスファターゼ症」は骨と歯の病気で、1歳から4歳で乳歯が早期脱落することが特徴です。しかし、歯の脱落を防ぐ根本的治療法は、現在のところ確立されておらず、小児義歯を装着するといった対症療法で対応しています(写真1)。また、乳歯が早期脱落すると歯列咬合の異常に繋がりと、顎骨の発育が不十分なため、矯正治療が必要になりますが、世界的にも低ホスファターゼ症における矯正治療の報告はなく、歯が脱落しやすい状態での矯正治療は特殊な技術が必要と考えられます。さらに、近年、世界に先駆けて、日本で酵素補充療法が開始され、骨には画期的な効果を認めています、歯や顎骨への影響は解明されていません(写真2)。

大阪大学大学院医学系研究科および歯学研究科は、この研究治療において、世界・国内の最先端を行っており、全国各地から患者さんが通院されています。そこで、大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室・顎顔面口腔矯正学教室では、「低ホスファターゼ症の歯科治療法開発への挑戦プロジェクト」を立ち上げました。低ホスファターゼ症に対して、「歯と骨の接着を強くする」「矯正治療にチャレンジする」という2つの目標を掲げ、クラウドファンディングによって研究費を調達することを企画しました。

2020年1月20日から開始したクラウドファンディングには、多くのご協力をいただき、2020年4月17日の募集終了日を

もって、443人の方から総額1,701万円のご支援をいただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

最終ゴール
1,500万円達成!

【研究期間の短縮】
研究専属スタッフを雇用し、研究期間短縮

★スタート

第1ステップ
達成!

細胞実験

第2ステップ
達成!

動物実験

第3ステップ
達成!

歯科治療法の開発

★ゴール

(写真1)
5本の歯が抜けた4歳の男の子に上下の義歯を装着しました。

(写真2)
当科を受診している男の子。週3回の注射(酵素補充療法)を頑張っています。

クラウドファンディング終了後もホームページでプロジェクトをご覧になれます。
[URL] <https://readyfor.jp/projects/hpp>

Project 2 「治療をがんばる口唇口蓋裂の子ども達を壁画で励ましたい」

～待合室の壁をキャンパスにして命を吹き込みます～

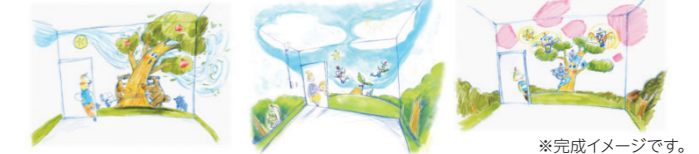
口唇裂・口蓋裂・口腔顔面成育治療センター

皆様のおかげをもちまして、当初の目標金額を上回り、ネクストゴール(目標金額400万円)も達成できました。多くの方からご支援いただき、大変感謝しております。

皆様の想いを壁画に託し、これから待合室・診療室を患者様とご家族の心温まる空間に変えていきます。

壁画が完成しましたら、ぜひ口唇裂・口蓋裂・口腔顔面成育

治療センターにお立ち寄りください。
本当にありがとうございました。



※完成イメージです。

ウイルス感染症と口の関係

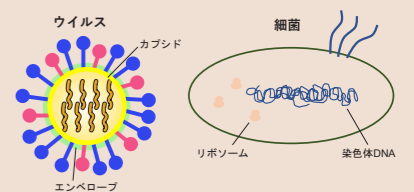


新型コロナウイルス感染により社会生活が脅かされています。ではウイルスと細菌はどう違うのでしょうか。図のように細菌は細胞をもち、栄養をとり、細胞分裂を繰り返すことにより増殖を続ける単細胞生物です。しかしウイルスは細胞がなく、自力では運動も増殖もできない、DNAもしくはRNAという遺伝情報のみをもったカプシドとよばれる殻(図の黄線)です。そういう意味で生物とはいえない「物質」と考えられています。ウイルスによっては、エンベロープ(図の緑線)という膜をもちます。この物質は動物の細胞のなかに入り込み、その細胞の機能を使って自身のコピーを増

やし、いのちを脅かします。

ではウイルスと口の関係はどうでしょう。ウイルスは口、鼻、目の粘膜からヒトの細胞に入り込みます。ウイルスの殻を破るためにアルコール消毒が最も有効です。高濃度アルコールを含まない殺菌剤ではウイルスをなくせません。マスクは直接ウイルスを吸い込まないためには重要ですが、マスクについたウイルスを口にしてしまうこともありますので注意が必要です。また唾液はウイルスを防御してくれるため、口の乾燥対策は重要です。歯磨きやうがい薬でのうがい効果的です。こまめにお茶を飲むのも有効でしょう。歯周病菌は、歯を失う一番の

原因ですが、近年、歯周病と糖尿病、肺炎、心筋梗塞、脳梗塞や大腸がんとの関連が報告されています。皆さんも聞かれたことがあると思います。コロナウイルス感染症が重症化するおそれのある基礎的な疾患と同じではないでしょうか。くれぐれも、アルコール消毒と手洗い、口腔内の清掃を心がけてください。

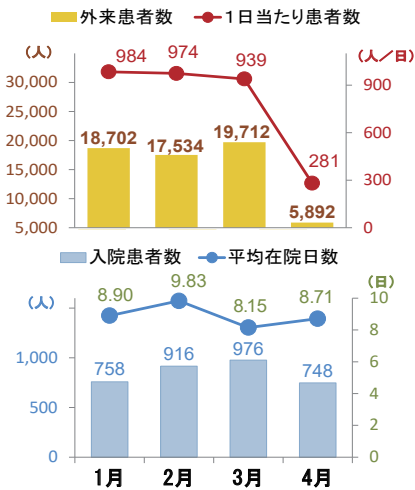


(本学 口腔細菌学教室より提供)

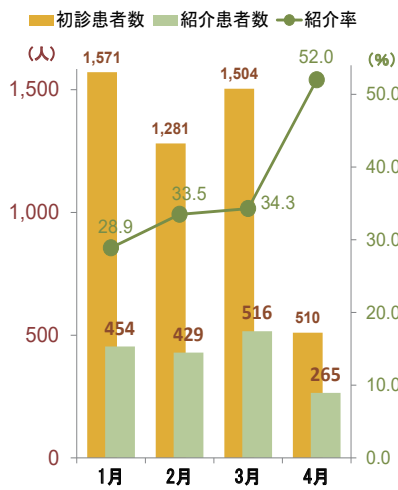
障害者歯科治療部 准教授 秋山茂久

1月～4月患者数等統計

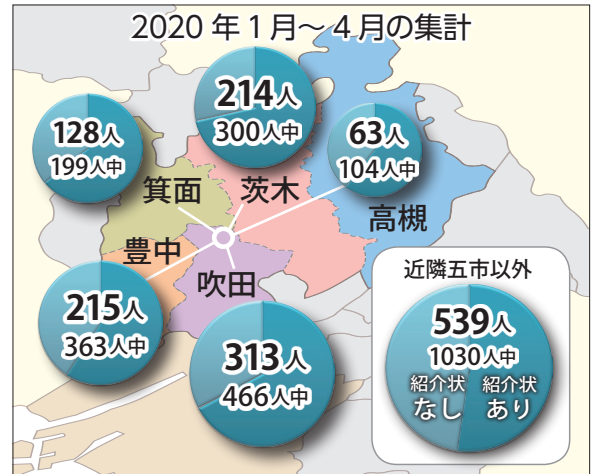
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率

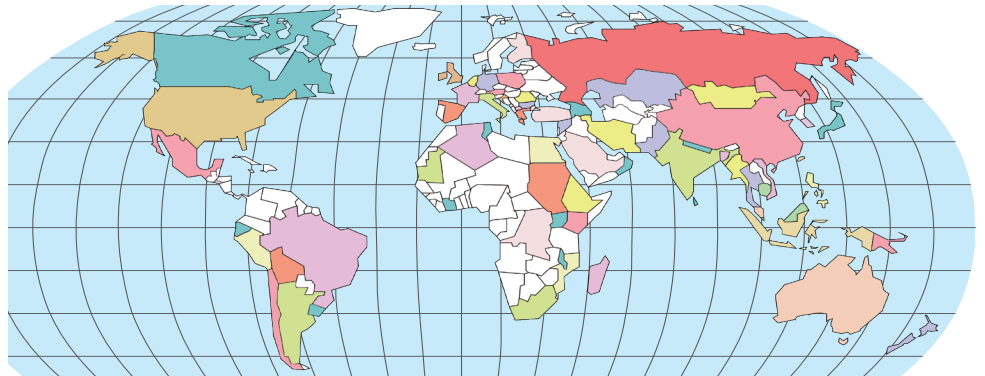
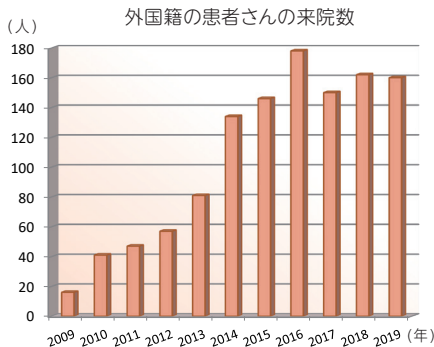


近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



外国籍の患者さんの来院数 (外来) と主な国籍の分布図

【主な国名】…中華人民共和国、インド、インドネシア、タイ、韓国、フィリピン、マレーシア、ロシア、アメリカ合衆国、トルコ、イギリス、スペイン等



◆抽出条件◆ 2009年度から2020年3月31日までに大阪大学歯学部附属病院を受診した外国籍の外来患者さんの人数を集計しました。

病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）

【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかりますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しく下さい。

入院患者さんへのご面会時間は、12時から19時となっております。

病院へのアクセス

https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

**歯科衛生士
募集中！**

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで

